



元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒 351-0007 朝霞市岡 3 - 1 6 - 1 3 TEL048-461-0042 FAX048-467-4735
令和5年 8月29日〈8・9月号〉 児童数 722名(8/28現在)

沢山の関わりの中で

～「どう生きるか」のアップデートを楽しもう～

校長 宮腰 高子

夏休み中の朝霞第二小学校では、専門業者による校舎の壁面や屋上等の様々な箇所の改修工事、防災機器・水質等の検査が積極的に行われました。また、教職員は、子供たちの笑顔を思い出しながら、授業研究・行事計画の他に、生徒指導・人権教育・特別支援教育・学習アプリについての研修会を実施しました。8月5日には彩夏祭で「輝け!150周年朝霞二小鳴子隊」が演舞を行いました。指導して下さった皆さんに支えられ、沢山の方にも応援に来ていただき、会場は大変に盛り上がりました。8月後半には学校応援団の皆さんに「ちゃれんじスタディ」を開催していただきました。今回は「宿題お助け」をテーマとし、児童は各自が持ってきた課題に集中して取り組みました。参加した子供たちからは「集中して宿題ができました。」等の感想があがりました。多くの点で学校が整う期間となりました。

世間に目を向けると、この夏も各地で大きなスポーツ等の大会がありました。どの大会を見ても様々なドラマがあり真剣勝負をする選手の姿に心を打たれた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。選手たちへのインタビューを聞くと、これまで自身が頑張ってきた話と共に、目標とした選手やチームの話が出ます。それは世界で活躍するような偉大な選手、そして身近な先輩や仲間でもあるようです。様々な出会いから沢山の刺激をもらい、ここまできたのですね。



また、日本の忘れられない日の一つとして長崎・広島原爆の日、終戦の日がありました。毎年、この日が近づくとこの話題がメディアで取り上げられます。それは毎年のことではありますが、体験談を話して下さる方は年々少なくなっていることを耳にします。また、「話したくない」という方も複数存じ上げています。その気持ちにも寄り添うこともとても大切です。そのことも含め、様々な視点において、語り継がれていかなければならない出来事と言えるでしょう。

経験の無い出来事というものは、想像するしかありませんが、数々の資料や貴重な話などの情報を得て今の自分の持つ力で想像し、理解を深めていきます。理解がさらに深まるきっかけは様々で、時にはふと目にした事象がヒントになることもあります。「このことは、あのことと同じかもしれない」「あれはこういうことだったのか」等と気づける高いアンテナを持ちたいものです。多くの気づきにより自分の考えが変わったり、さらに肉付けされたりすることで、その人の生き方ができてくるのかもしれない。

さあ、2学期が始まりました。長い夏休みを、それぞれに過ごしてきた子供たちが集まりました。今学期も、様々な学びの中で、自分の考えをまとめ、意見を交わし、さらに考えを深めること。また、予想をし、調べ、考察すること。その中で自分も、友達も大切に思うことを沢山経験し、社会に出る準備として自分の生き方をアップデートできるように職員一同支援してまいります。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

